

令和7年度 第1回長野市立図書館協議会開催概要

- 1 日 時 令和7年7月24日（木） 午後2時00分～午後3時45分
- 2 場 所 南部図書館2階大会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員10名 石坂晶子委員、海沼桂子委員、風間悦子委員、嘉瀬豊子委員、児玉康子委員、齋藤直人委員、関川あかね委員、花岡章子委員、向紀男委員、柳沢久子委員
 - (2) 事務局10名 教育次長 前島 卓
家庭・地域学びの課長 藤原慶治、主事 徳武朋香
長野図書館長 稲葉聡子、主幹兼館長補佐 小山陽代、館長補佐 鈴木正文、係長 人見一由
南部図書館長 峯村八郎、館長補佐 市川文彦、主査 青木紗耶香

4 次 第

- (1) 開 会
- (2) 任命書交付
- (3) 教育次長挨拶
- (4) 自己紹介
- (5) 委員長選出・委員長職務代理指名
- (6) 委員長挨拶
- (7) 協議事項
 - ア 令和6年度事業報告について
 - イ 令和7年度事業計画について
 - ウ その他
- (8) その他
- (9) 閉 会

5 議事内容

- (1) 開 会 <開会のことば>
- (2) 任命書交付 <新任委員へ任命書を交付>
- (3) 教育次長あいさつ

教育次長： 令和7年度の第1回目の図書館協議会の開催を申し上げたところ、お忙しい中また大変暑い中ご出席をいただき感謝申し上げます。

また、このたびに皆様には、図書館協議会委員のご就任をご快諾いただき、重ねて御礼を申し上げます。2年間の任期ということになるのでよろしくお願ひしたい。

改めて私から申し上げるまでもないが、図書館は、本市の教育文化の発展のため大変重要な場である。市民の皆様親しみをもち利用していただき、また、ご要望にもお応えするよ

うなことができる、さらには生涯学習に貢献できる図書館を目指して、各種事業を実施している。

一部をご紹介申し上げますと、この南部図書館は、一昨年秋から、耐震補強工事を始めとした改修工事を実施し、昨年4月にリニューアルオープンをした。

この会議室も以前に比べると、非常に明るくなり、以前をご存じない方もあるかもしれないがLEDとなり、1階の図書館も同様に大変明るくなった。

さらに、耐震補強もしたわけだが、エアコンの整備、トイレの更新、床の一部張りかえなどを実施した。

従来に比べて、非常に明るく使いやすい施設となり、利用者の皆様からも、トイレの使い勝手や、部屋の明るさ部分について、大変良い評価をいただいている。

また、移動図書館で使用している、図書館車両を3台で運行しているが、老朽化した1台を更新し、いいづな3号ということで、今年1月から運行を開始している。特注車両で、売っている車両を買ってくるのではないので、特別に注文をして作る車両ということもあり、予算化や議会の手続きも含め、足かけ3年ほど時間をかけ、ようやくこの1月から運行ができるようになった。

現在、市内92箇所、2週間に1回決まった場所に行けるようにし、貸し出し等を実施している。

続いて、長野図書館について、長野図書館は昭和60年開館から、今年7月1日に40周年という年を迎えた。この節目の年を記念して9月28日に記念式典、記念講演会を開催する予定で現在準備を進めている。更に、その他に様々な記念事業を実施し計画もしている。そのうち、開催した事業を2つほどご紹介をすると、今週の月曜日の21日は海の日だが、「One DAY 映画フェス」という名前で、人気のクラシック映画3タイトルを一挙に上映するもので、「ブーベの恋人」、「第三の男」など上映イベントを開催した。

また、長野図書館は、アメリカのノーベル賞作家のウィリアム・フォークナーにゆかりのある図書館ということでもある。

今年はフォークナーが長野市を訪れてから70年という、こちらも節目の年であり、それと40周年をかけ合わせ、6月23日に「ウィリアム・フォークナーと戦後日本・長野」という名前でトークイベントを記念事業として開催し、それぞれ多くの皆様のご参加をいただいた。

その他本年度は、長野、南部両図書館で利用している図書館システムを新システムに更新するという事業を進める。この更新により処理能力の向上安定化を図る外、さらにスマートフォン対応など、ご利用をいただく皆様へのサービスの向上、拡大をして参りたい。いずれにしても詳しくは後ほどご説明をさせていただきます。

本日は、長野市立図書館令和6年度の主な事業実績と、令和7年度の主要事業計画についてご協議をお願いをするところだが、図書館がより親しまれ、ご利用しやすくなるよう、委員の皆様には、忌憚のないご意見、ご提案をいただくようお願い申し上げ、冒頭の挨拶と

させていただきたく、本日はよろしく願います。

(4) 自己紹介 <各委員、事務局が自己紹介>

(5) 委員長選出・委員長職務代理者指名 <委員長に齋藤委員、委員長職務代理者に風間委員が決定>

(6) 委員長挨拶

委員長： 委員長に選出され感謝している。毎日松本から電車で70分、iPadで映画を見ているが、今度は本を読みたいと思う。ぜひ、スムーズに議事進行ができるよう、皆様の協力をお願いする。

職務代理： この職を何年か前にやらせていただいた。その時は、こちらの図書館暗い感じが、久しぶりに来館したら、とても明るく使いやすく、当時の懸案事項だったと思うが、建物が耐震やきれいになり非常にうれしく思う。

(7) ア 令和6年度事業報告について

<事務局から「令和6年度図書館概要」により説明>

委員： この資料は非常に分析されて素晴らしいし大変だったと思う。同じくらいの人口都市と比較する資料はないか。年度別に、長野県は教育県と言われ、図書の数字もよいのではないかと思う。この資料を生かせないか？

事務局： 同じような規模の都市、中核市の比較については、現在資料を持ってはいないが、長野市は、図書館が2館しか無い。他市はもっと館数あると思うので、1館当たりの貸出冊数は多いと思う。2回目の協議会の時に資料を提出する。

委員： この資料を生かして、それぞれ他の都市と比較して、やった成果が分かる資料をお願いしたい。

委員： レファレンスについて、具体的にどのようなサービスなのか詳しく聞きたい。

事務局： 例えば色々な調べものをして、こういう事について調べたいなど司書に聞いていただければ、この本にはこのように掲載されているとか、司書ができる限りお調べしてお渡しするサービスである。

委員： 専門の方がいらっしゃるのか？

事務局： 専門ではないが、カウンターに出ている職員は全員司書資格を持っているので誰に聞いていただいても調べることができる。

委員長： 赤ちゃんのお話を南部図書館でやっているが、赤ちゃんにお話しをするのか。それとも赤ちゃんに関するお話をするのか？

事務局： 0歳児、まだことばを話せない赤ちゃんが対象。看護師による赤ちゃんマッサージ、言葉や絵など乳幼児にも適した絵本の紹介、司書による絵本の読み聞かせなどを行っている。

(7) イ 令和7年度事業計画について

<事務局から「令和7年度図書館概要」により説明>

委員： 南部図書館まつりというのは、どの程度PRされるのか。せっかく素晴らしい行

事をやられているみたいなので。

事務局： ホームページ、広報ながの、図書館の広報誌、新聞にも掲載を依頼して実施している。

(7) ウ その他

委員： システム更新に伴い、12月1日から14日については長野、南部どちらの図書館も閉館になり、移動図書館はどうか？

事務局： 移動図書館も含めすべての図書館が、使用できなくなる。

委員長： 図書館はともうまく運営されていて、この資料なんかも作成に非常に大変だったと思うが実に素晴らしい資料で、この資料を生かすことを考えていただきたい。全国的な図書館の数値とか、全部出ているものがあれば、私も見せていただいて、今年の中で一番良かったとか、今どこの立ち位置にいるのかとか比較ができ、もっとアピールできるのではないかと思う。

事務局： 全国の図書館の統計は色々あり、その中でも同じくらいの中核市をピックアップして、資料を作りたいと思う。

職務代理： 大変素晴らしい資料だと思い感心している。その中の49ページ分室の利用状況について、数字を挙げていただいているが、高齢化社会に向かっている中で、新規登録者数も利用者数も一般の方が、児童よりももちろん多い。今後もっとこのような傾向になっていくような気がする。私は北の方だが、吉田、三輪、浅川であまり利用されていないようで、内訳を見ると高齢者が多いという印象を受ける。そのあたりで、高齢者に対する計画等何かあれば支援をいただきたいと思う。

事務局： 特に計画はないが、選書をする際に全体的なバランスを考え且つ予算の範囲内で購入している。

事務局： 大活字本は、1冊の本を3冊ぐらいに分け大きな活字の本だが、値段が非常に高いものなので各分室に置くのは難しいが、分室の方で予約申請をしていただくと、本館の方からお取り寄せをすることができるので、高齢者の方にお勧めしていただければよいかと思う。

委員： 南部図書館は、おはなし会が毎月第2～第5水曜日ということで平日の午前中なので、学校へ行っている子ども向けではないということか？長野図書館の方では、毎週土日やっているのだから、やはり児童の貸出数が少ないということを考えて、ぜひ土日におはなし会ができれば良いと思う。

事務局： 南部図書館のおはなし会について水曜日実施しているのは、学校へ行く前のお子さんを中心に開催している。

事務局： ボランティアをメインにおはなし会を開催している。土日は中々ボランティアが集まらない状況であり、南部図書館の特徴として移動図書館、市民文庫、分室にそれぞれ司書を配置しているので、物理的におはなし会につける人員がなかなか配置できないという現実的な問題もある。ただ、土曜日に実施してほしいという声は、利用者からいただいて

いるので今後、館をあげて検討していきたい。

事務局： 長野図書館は、土曜日の午後、日曜日の午前中に開催しているが、参加されるお子さんは、3歳から5歳くらいの小さいお子さんが多い。小学生の参加はほとんどない。夜のおはなし会や怖いおはなし会などは、小学生に人気なので、今後も小学生がたくさん来ていただけるイベントを考えていきたい。

委員長： 協議会としては、南部図書館の土日におはなし会を開催することを検討しなくても良いということよろしいか。

委員： 5月、7月、12月のこども会は土日に開催しているので、そういう場で子どもたちが親しみを持てるといい。

委員長： それでは、もうしばらく現行の体制で続けていただけたらと思う。

委員： 今、色々と図書館のお話を聞いた。学校図書の場合は、子どもは非常に本が好きで、学校図書館司書は、色々と思考し本校では、ついこの間サマーフェスティバルで本紹介や読み聞かせや楽しい催しを実施している。このようなことをやっていると、子どもが集まる。子どもの様子を聞いてみると、二極化していると感じる。

市立図書館へ日常的に行って、本を借りて帰ってくるのが楽しいという文化、その他の思考の子ども。図書館でやっているイベント、催し物について学校を通じてアナウンスできると、更に子どもが足を運ぶと思う。学校への情報がなかったわけではないが、もう少し学校と図書館がネットワークできればと思った。

委員長： 図書館事務局ではどうか？

事務局： イベント等の案内については、南部図書館は北部等遠方の学校へは送ってはいなかったが、イベント等のポスターやチラシなど庁内メール便などで学校や保育園など規模を拡大してお送りすることを検討したい。

委員長： 配布する学校を広げるという程度でよろしいか。

委員： チラシなど子どもたちに繋げ、学校の中でも働きかけが必要だと思っている。学校司書等のネットワークもあるので、それを含め検討していきたいと思う。

委員長： 本日は大変多くの建設的なご意見をいただいた。委員の皆様の声を図書館運営に反映できるようご尽力していただきたいと思う。それではこれで、協議事項を終了して進行を事務局にお返しする。

(9) 閉 会

教育次長： 長時間にわたり、熱心にご協議いただき感謝申し上げます。様々なアイデアだとか素朴な疑問など出していただき、大変参考になった。可能な限りどんどん取り組んで生かしていきたいと思っている。委員の皆様には、引き続き市立図書館運営にご協力を賜るようまた、次回は2月ということなので、その間図書館についても注目していただき、お気づきなことやアイデア、ご提案等があったらお寄せいただければ幸いである。